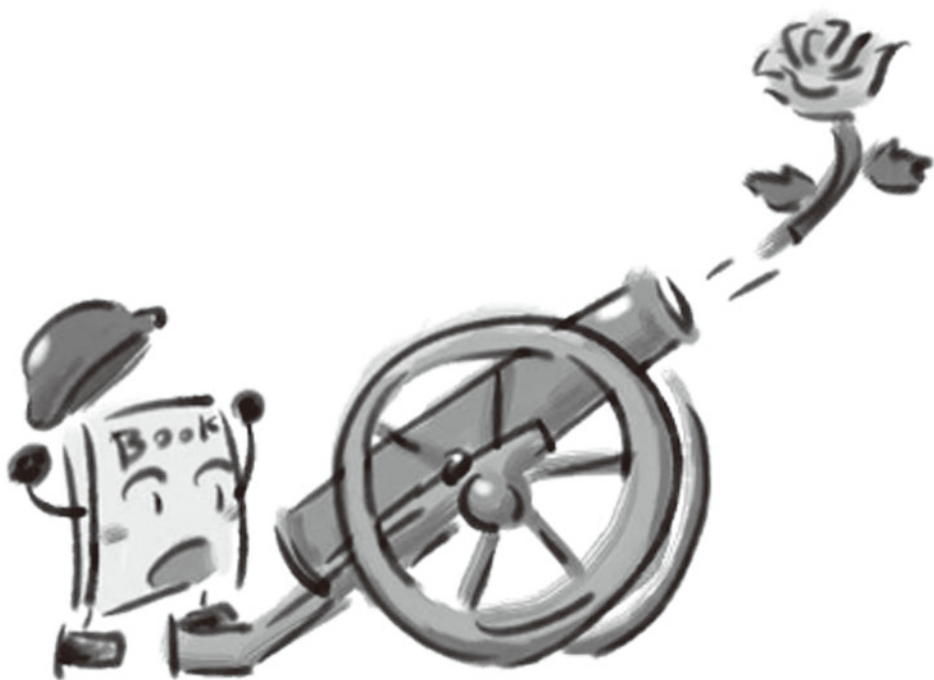


★ 小学4年生のみなさんにおすすめの本 ★



よんでみて!



習志野市立図書館

『てんぐのそばや 本日開店』

伊藤 充子／作 偕成社 913イ

「じまんや」のてんぐは、そばがすきですきでたまりません。自分でそばを打つだけではものたりず、とうとう山をおりてきて、そばや“天狗庵”をはじめてしまいました。ごきげんでそばをゆでるてんぐでしたが、だれもたべにきてくれません。そこで、「ひっこしそば」をおとなりにもっていきます。



『霧のむこうのふしぎな町』

柏葉 幸子／作 講談社 913カ

リナはお父さんのすすめで霧の谷で夏休みをすごすこととなります。ピエロの傘にみちびかれ霧の谷へたどりついたリナは、ピコット屋敷で暮らすことになりました。けれども、そこは、自分でかせいだお金でなければご飯が食べられないところだったのです。



『ルドルフとイッパイアッテナ』

斉藤 洋／作 講談社 913サ

もしも遠いまちでまいごになって、帰れなくなってしまったら、どうしますか。交番に行きますか。だれかに電話しますか。でも、ねこの世界ではそうはいきません。これは、まいごになった「黒ねこのルドルフ」の冒険のお話です。

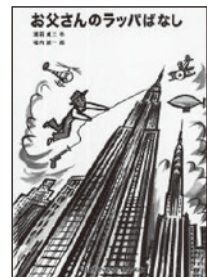
※続きに『ルドルフともだちひとりだち』『ルドルフといくねこくるねこ』『ルドルフとスノーホワイト』があります。



『お父さんのラッパばなし』

瀬田 貞二／作 福音館書店 913セ

お父さんは、晩ごはんのあとでいつもラッパ話をしてくれます。ラッパ話というのは、ほら話のこと。ただのうそではありませんよ。お父さんが世界を旅したときの、びっくりするようなお話をいっしょに聞いてみましょう。



『ドングリ山のやまんばあさん』

富安 陽子／作 理論社 913ト

ドングリ山に296歳^{さい}のやまんば^すが住んでいました。オリンピック選手^{せんしゅ}よりも元気で、プロレスラーよりも力持ちのやまんばあさん^{あらし}。嵐^{あらし}の日に難破船^{なんぱせん}ごっこをしたり、町へ下りていくとちゅうで自動車^{じどうしゃ}ときょうそうしたり、今日も絶好調^{ぜつこうてう}です。



『イギリスとアイルランドの昔話』

石井 桃子／編・訳 福音館書店 93イ

「三びきの子ぶた」や「ジャックとマメの木」などみんなの知っているお話の他に、小人^{こびと}やようせいの出てくる話、こわい話、ふしぎな話など、たくさんのおもしろい昔話がのっています。



『歌うねずみウルフ』

ディック・キング＝スミス／作 偕成社 93キ

13びききょうだいの末っ子^{すえ}に生まれたチビネズミのウルフは、ピアノがじょうずな老婦人^{らうふじん}の家に住んでいます。ウルフはすばらしくきれいな声で歌^{うた}が歌えます。老婦人のピアノを聞いているうちに曲^{おぼ}を覚えてしまったのです。



『がんばれヘンリーくん』

ベバリイ・クリアリー／作 学研 93ク

「何か、あつというようなことが、おこらないかなあ…」ヘンリーくんはよくそう思いました。ある日、とてもやせた犬をひろい、家につれて帰ろうとこっそりバスに乗せました。ところがバスの中で犬があばれだし、おおさわぎになってしまいます。

※「ゆかいなヘンリーくんシリーズ」は全部で14冊あります。



※ のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

『ドミニック』

ウィリアム・スタイグ／作 評論社 93ス

イヌのドミニックは旅に出ることにしました。もうじつとなんてしてられません。「おともだちのみんなへ。ぼくは世の中のいろんなことを知りたいので、大いそぎで出かけます。」ドアにはり紙をして、さあ冒険のはじまりです。



『くまのパディントン』

マイケル・ボンド／作 福音館書店 93ホ

駅で、古いスーツケースとともにすわっていた1ぴきのくま。優しくあたたかいブラウン一家と暮らすことになり、パディントンと名前をつけてもらいました。しかしおっちょこちょいなパディントンは失敗ばかり。今日もなにやら事件が起こりそう…！

※「パディントンの本」シリーズは全部で10冊あります。



『魔法使いのチョコレート・ケーキ』

マーガレット・マーヒー／作 福音館書店 93マ

料理上手な魔法使いはひとりぼっち。ケーキを焼いてもいっしょに食べる人がいません。お茶の相手はずっと1本のリンゴの木。でも、ある日とつぜんまちの子どもたちがやってきて…。



『大どろぼうホッツェンプロッツ』

プロイスラー／作 偕成社 94フ

おばあさんの大切なコーヒーひきがぬすまれた！少年カスパールと親友のゼッペルが協力して、少々まぬけな大どろぼうホッツェンプロッツをみごとにつかまえるまでのゆかいなお話です。

※続きに『大どろぼうホッツェンプロッツふたたびあらわる』『大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる』があります。



『くろて団は名探偵』

ハンス・ユルゲン・プレス／作 岩波書店 94フ

「くろて団」のメンバーは、男の子3人と女の子1人とリス1ぴき。彼らは次々に事件を解決に導きます。本の中に出てくる絵をじっくり見ると事件のなぞが解けてきます。あなたも「くろて団」と一緒になぞ解きを楽しめませんか。



『長くつ下のピッピ』

リンドグリーン／作 岩波書店 94リ

にんじんそっくりな色のおさげにそばかすだらけの顔、一方は茶色、もう一方は黒の長いつ下をはいた女の子。その名も「ピッピ・ナガクツシタ」。ピッピがまき起こすゆかいでやさしい物語です。

※続きに『ピッピ船にのる』『ピッピ南の島へ』があります。



『みどりのゆび』

モーリス・ドリユオン／作 岩波書店 95ト

チトが親指を押しあてた場所にはあつという間に花が咲きます。そうです、チトの親指はなんと「みどりのゆび」でした。チトはこの力を使い、町のいろいろなところで花を咲かせます。さて、チトが次に花を咲かせるのはどこでしょう。



『おそうじをおぼえたがらない リスのゲルランゲ』

ジャンヌ・ロッシュ・マゾン／作 福音館書店 95ロ

ゲルランゲはとても元気なかわいい子リスですが、おそうじが大好き。とうとう家をおいだされてしまいます。それでもおそうじをおぼえたくないと言いはる意地っぱりなゲルランゲの楽しいお話。



※ のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

『オンネリとアンネリのおうち』

マリヤッタ・クレンニエミ／作 福音館書店 99ク

オンネリとアンネリは大親友^{だいしんゆう}。ある日お金の入ったふうとうをひろいます。おまわりさんにとどけましたが、「ふたりのものだよ」と言われて困^{こま}ってしまいました。そんな時、まちがえて「ふたりの小さな女の子」のための家をたててしまったおばあさんにでています。



『しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩』

はせみつこ／編 富山房 911シ

この本には、たくさんの詩がのっています。ぜひ声を出して読んでみて、自由に楽しんでください。「あなにおちたよ あいたたた アイロンさわって あっちち あるいてあせかく あついあさ あきのあおぞら あかとんぼ…」(谷川俊太郎「あいたたた」より)



『モグラの生活』

飯島 正広／文・写真 福音館書店 489イ

みなさんは野生のモグラを見たことがありますか。この本を書いた飯島さんは、地中で暮らしているモグラを探したり、モグラを飼^かって観^{かんさつ}察^{しつ}しました。一緒にモグラの生活をのぞいてみましょう。



『好奇心の部屋デロール』

今森 光彦／文・写真 福音館書店 480イ

フランスのパリの街をさんぽしていたら、ふしぎな店を見つけました。「デロール」とよばれるその店には世界各地の動物のはくせいや、昆虫の標本^{ごんちゅう ひょうほん}、鉱物^{こうぶつ}、貝、化石などがおいてあります。見知らぬ国を旅したい、生きている姿^{すがた}を見たい…空想は広がります。



『土のコレクション』

栗田 宏一／著 フレーベル館 **40ク**

私たちの足元にある土。どれも同じだと思っ
ていませんか。この本を見れば似たよ
うな色に見えてもみんなちょっとずつ違
って、土が実にカラフルなことに驚くは
ず。自然の中には、私たちが気づいてい
ないおもしろさがまだまだたくさんあ
るのです。



『ズボンとスカート』

松本 敏子／文・写真 福音館書店 **38マ**

スカートは女の人だけがはくものだと思っ
ていませんか。世界のあちこちの国で、男
の人もスカートをはいています。おもしろ
い形のズボンやスカートを見ていくと、
世界の人たちのいろいろな暮らし方がわ
かります。



『エンザロ村のかまど』

さくま ゆみこ／文 福音館書店 **33サ**

ケニアの村で大流行の「エンザロ・ジコ」と「パティ
パティ」は、じつは日本の「かまど」と「わらぞうり」
のこと。昔の日本人がもっていた知恵と技術が、遠いア
フリカで役に立っています。



『絵で見る日本の歴史』

西村 繁男／作 福音館書店 **21二**

およそ10万年前の石器時代から現在までをえがいた
歴史の絵本です。えがかれた人や物をひとつひとつい
ねいに見てください。人びとの暮らしのうつりかわりが
よくわかります。



ようこそ 図書館へ!

初めて本をかりるとき

住所の書いてあるもの(名ふだ、自分のところに来た手紙など)を持ってカウンターに来て下さい。「図書館カード」を作ります。

かりるとき

かりたい本と、図書館カードをカウンターに持って来て下さい。

1人**10さつ**まで**2週間**かりられます。

CD・DVDは**2点**まで**2週間**かりられます。

返すとき

カウンターに本を持って来て下さい。

図書館がお休みの時は、ブックポストに返すこともできます。

本が見つからないとき

図書館の人に聞いて下さい。

他にも、わからないことがあったらどんどん聞いて下さい。

貸出中の本は、予約することもできます。

おはなし会

絵本の読み聞かせや、楽しいおはなしをします。

日にちや、時間は「おはなし会のおしらせ」を見て下さい。

